

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年9月 7日（14：45～15：55）
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	7人	4人	2人	13人

前回の改善計画	高齢及び認知症により意思表示が困難な方に対しても、職員側から本人の思いをくみ取って支援することができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	介護計画に設定された在宅生活維持継続の目標に向けた日常的ケアは生活リハビリを活かしながら実践できつつある。しかし、職員の中には認知症の理解が浸透しているとはまだまだ言い難く、拒否があれば次への展開を怠ってしまう現実もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		7	4	3	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		8	3	2	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		9	4	1	14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		7	4	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの中から情報を把握し苑での出来ることを検討している。 ・介護計画に基づいての目標設定を支援の柱として記録を残している。 ・個々の目標を設定して日々訓練している。 ・在宅生活の維持を目標に機能訓練の実施。 ・利用者の非現実的な態度からも意思表示のツールとしている。 ・機能訓練の支援が何とかできている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思表示が上手に把握できず、ケアに繋がっていない。 ・ミーティングに参加できず（短時間労働の為） ・拒否されると次への取り組みを怠ってしまう。 ・本人の目標や思いは事業所の限界も含め、家族の思い（希望）が通されてしまう。 ・特定の人を優先したケアになっている。 ・本人の目標が～したいなのか理解しがたい。 ・目標の明確化と共有手段がない。 	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
認知症への理解を深め、日々の支援やコミュニケーションから本人の思いをくみ取り支援に活かすと共にそれらの情報の共有に努める。	